

シャローム



冬

2020年

神は我々と共におられる

(マタイによる福音書 一章23節)



画 水谷泰子

司祭団からの

クリスマス・メッセージ

★ ビジュー・キシヤケール

皆さま、救い主イエス・キリストのご降誕おめでとうございます。今年はコロナ禍でのクリスマスとなりました。コロナ禍で苦しんでいる人々、信仰を失った人々のために祈りたいと思います。

クリスマスは私たちに喜び、希望を与える出来事です。キリスト者だけではなく、他の宗教の方々もこの喜びに参加し、祝っています。闇に迷う民を光へ導く救い主として、キリストが私たちのために生まれたことを喜びます。キリスト者である私たちは、喜びをもって、この出来事を伝えなければならぬのです。人々が分け隔てなく、互いに愛し合って、大切にされ、より良い平和の世界を作ることができまますように祈りましょう。

このクリスマスに、吉祥寺以外に近くの教会も訪れ、馬小屋の前で救い主を

拝み、救い主の誕生に感謝し、世界のために10分間の祈りを捧げましょう。そして神様から自分に与えられたすべての恵みに感謝し、周囲を喜びで照らす人になれるよう心がけましょう。

★ ボスコ・マニマラ

皆さん、主の平和！

私たち皆がよく知っている通り、クリスマスは、「罪から人間を救うために、人間になられた主イエス・キリストの愛と平和の祭り」です。この祭りについて考えながら、聖書に出てくる二つのことについて分かち合いたいと思います。

はじめに、クリスマスについてイザヤの預言(イザヤ9章1〜3節)で、私たちは次の通りに読んでいます。「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住むものの上に光が輝いた」。ですから、罪を犯した人間である私たちは、闇

の中を歩む民、あるいは死の陰の地に住む者です。このような私たちの上にイエス・キリストという光が輝きました。自分の心を清くしながら、いつもこの光に導かれるように祈りましょう。

次に、ルカの福音(ルカ2章14節)で私たちは次の通り聞いています。「この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。『いと高きところには栄光、神にあれ。地には平和、御心にかなう人にあれ』ですから私たちは、神様の前に自分の心を清くする時、私たちも御心にかなう人になりながら神様の正しい平和の経験もよくできる、と思います。

★ アンデイ・フアニ

私たちに大きな喜びが与えられました。なぜなら、救い主イエスがこの世界に來られたからです。

クリスマスは私たちの生活に平和と喜びをもたらすものとして受け入れられています。イエス様がお生まれになった時から、神様は人間の生活と連帯してきました。信者として、私たちがクリスマスを理解する方法の一つは、イエス

様との連帯に参加することです。そのために、私たちは他の人とつながり、今起きている社会の現実にも敏感になりましょう。クリスマスにはすべての人々の平和と喜びを祝いましょう。

トウ・ダン・ブック

待降節について『典礼暦年に関する一般原則』は次のように語っています。「待降節は二重の特質をもつ。それはまず、神の子の第一来臨を追憶する降誕の祭典のための準備期間であり、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第二の来臨へと心を向ける期間でもある。この二つの理由から、待降節は愛と喜びに包まれた待望の時であることが明らかに becoming」(39)。

今年は典礼への参加が制限され、また例年通りの黙想会、共同回心式は行われませんが、待降節の精神に従い、自分なりの決心や方法で待降節を過ごし、降誕祭をふさわしい心で祝うことができよう願っています。救い主イエスの誕生がわたしたちの人生を希望で満たしてくださいますように。

後藤 文雄

「はじめに、ことばがいた」

という書き出しで、ヨハネによる福音書の序文が新約聖書翻訳委員会訳で出されている。敬語的表現を使っていないが、気にせず読み通してみたら気付かなかったことがみえてきた。神のロゴスことば、生ける神の知恵・意思は神存在の中核をなし、天地創造はこの「ことば」の発出から始まったということである。ロゴスは世界に対する神の全面的自己開示であったということだ。「ことばがいた」と人格的存在表現で表されることで主の来臨が目前に迫っていることがわかる。人間は次第に神から遠ざかった。そこで神の「みことば」は受肉の神として語られた。頭をたれてこの神祕の前にひれ伏し、感謝し、神のご配慮を改めていただく決意を新たにすることがクリスマスであると自認している。

フランクルの名著『夜と霧』に44年のクリスマスを迎えるナチス強制収容所の動静がある。囚人の間にクリスマスには家に帰れるという噂が広まったが、そ

れは噂話にすぎず、人々は失望落胆してしまった。そして45年の新年までに大量の死者が出た。悪化した労働条件、食料不足、伝染病の蔓延、そして自殺によるものであったという。生ける根拠としての希望がもぎ取られたからであった。フランクルは他の著書で記している。「生ける(意味)は一回限りの『時の要請』である。(今、ここで)他ならぬお前がなすべきだという一回性と独自性が使命の絶対性を形成している」。

この「口ナ時代、しかもすでに世界で150万人近くいる死者の一人に自分も加えられるかもしれない過酷な状況で、一回限りの出来事として最後の一本のワクチンが私に打たれようとした時、次に待つ人に私の分を譲られるだろうかと自問した時、曰「ごろ美辞麗句を並べる私が、困惑した顔をしてたじろぐ無様な状況を想像して愕然とする。目前の飢えている人に自分のパンを差し出す囚人がおり、命乞いする人に代わって餓死刑に服したコルベ神父がいる。そのような模範になるべく決意を新たにすのが今年のクリスマスの決心である」。




CHRISTMAS 2020

Bosco

On the occasion of Christmas 2020, I am reminded of what we read in the Gospel according to St. Luke, Chapter 2, verses 8 to 14., where an Angel of the Lord, announces the birth of Jesus to the humble shepherds. The relevant and thought-provoking verses are as follows.

“There were some shepherds in that part of the country, who were spending the night in the fields, taking care of the flocks. An angel of the Lord appeared to them, and the glory of the Lord, shone over them. They were terribly afraid, but the angel said to them. Do not be afraid, I am here with good news for you, which will bring great joy to all the people. This very day in David’s town, your Saviour was born- Christ the Lord. You will find a baby, wrapped in strips of cloth and lying in a manger. Suddenly, a great army of angels, appeared with the angel singing praises to God. “Glory to God in the highest heaven, and peace on earth to those with good will”.

While the verses can provide different reflections to us, in tune with our differing life-experiences, I would like to share two of my reflections on the verses.

First of all, the good news of Christmas, was first conveyed by the angel, NOT to the rich and powerful of the Society, BUT to the poor, simple and humble shepherds, who unconditionally believed in the providence of God. In other words, while the shepherds were not materially rich, they were rich spiritually, due to which they were blessed by God. Secondly, the angel wishes peace of Christmas, to all those with GOOD WILL. In other words, when we help our needy brothers and sisters, we become people of GOOD WILL, who will experience the genuine peace of Christmas.

MERRY CHRISTMAS AND BRIGHT NEW YEAR 2021.



クリスマス
メッセージ

―試練のうちに―

イエスさまを迎える

祈りの花束



名古屋発

赤ん坊のイエスさま

神言修道会神学生

傍島 そばじま
義雄

名古屋発

闇が深いほど
光は輝く

神言会会員 品田 豊

2008年、クリスマス・イブの朝日新聞『天声人語』にキリスト教徒の詩人、坂口登美子さんの「クリスマスを祝う」という題の詩の一節が引用されました。とても素朴で、心温まる詩でしたので紹介します。

「みんなお互いにぬくめあおうと／みんなお互いによるこぼしあおうと／どんな苦しい日の中も／この日だけは／そのことばかりを考えている」(朝日新聞『天声人語』2008/12/24)

戦争をしている国どうし、また普段は

互いにかみあっている者どうしでもクリスマスには、一人一人のもつ優しさとぬくもりを分かち合えます。ただ残念なのは、まるで線香花火のように一瞬のうちに暗闇に戻ってしまうことです。クリスマスの本当の意味は、神様が人類の闇に永遠に消えることのない光を灯すために、最愛の御一人子イエス様を世界に遣わされたことにあります。イエス様は、瞬間的に暗闇に光を灯すために遣わされたのではなく、私達が主に結ばれて光の子となるために遣わされたのです。

今、世界では、いつ終息するかわからないコロナ禍による深い闇が蔓延しています。しかし、闇が深いほど光は輝くのです。どうか皆さんの輝きで世界を温めてください。

名古屋発

皆さん、主の御降誕おめでとうございませう。新型コロナウイルスの影響で、制限された生活が続きますが、闇の中に希望の光が射して来るかのように、今年もイエスさまは小さな赤ん坊の姿で、私たちの間に生まれて来てくださいます。

クリスマスがやって来るたびに私は、イエスさまにも赤ん坊の頃があったのだなとしみじみと感じ、その姿を思い浮かべます。そして想像の中で、イエスさまを自分の腕に抱きかかえてみます。その姿はとても愛らしく、彼の笑顔に私は癒されます。また、彼の温もりを感じてみます。イエスさまの温もりは、私の心と体を温めます。

そしてクリスマスの日には、イエスさまに赤ん坊の頃があったように、私にも赤ん坊の頃があったことを思い出します。自分も人々の腕に抱かれて、祝福の言葉

を投げかけてもらったのではないかと思
います。自分が赤ん坊だった頃の姿を想
像すると、その姿に自分も励まされます。
クリスマスの日には、自分の弱さや隣人
の弱さをゆるめたい。自分の命と隣人の

命に感謝したい。赤ん坊のイエスさまと
ともに、希望をもって歩み出したい。
私たちにとって新しい一年が、素晴ら
しいものとなりますように。

韓国発
イエスさま
私たちの人生によろこそ！

聖霊奉侍布教修道女会 町村 治美

吉祥寺教会の皆様、韓国より主のご
降誕のお祝いを心から申し上げます。暗
闇の中に光としてお生れになったイエス
様を信じる私たちが、お互いの人生の中
にある光を見出すことができますように。
さて、韓国に派遣されて3度目のクリ
スマスを迎えますが、振り返ってみると
神の豊かな御導きに心から感謝したいと
思います。日韓の政治的緊張が高かった
1年目、周りから「大変ね」とよくねぎ
らいの言葉をいただいたものですが、幸い

に何も韓国語がわからない状態だったの
で幼子のような心で韓国語を勉強しま
した。

その年の10月には、宣教月ということ
で、フランススコ会の食堂ボランティアを
始めました。とにかく明るい活動の中で、
貧しい方々の祈りの力を実感したことは
吉祥寺教会でクララという洗礼名を頂
いた時の感動を再び味わう契機となり
ました。

2年目はコロナの流行が韓国でも始ま
り、韓国語の授業も3ヶ月ほど中断して
いましたが、先生と生徒の熱意によって
zoomによる授業が再開され、8月に受
験した韓国語の試験では良い成績をお
さめることができました。

感謝のうちにメリークリスマス。



ソウル市内のアヒョンというところに
神言会の本部と私たちの共同体(養成の
家)があるので、日曜日以外の平日は神
言会の神父さんたちと一緒にミサをささ
げています。

南米発

アルゼンチン便り

神言会会員 北島 泰治

まずは後藤神父様司祭叙階60周年おめでとうございます！ まずは第一線で私たち宣教師をご指導お願いいたします。

さてコロナウイルスが世界を駆け巡って多くの犠牲者が出ていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。こちらアルゼンチンでは、今日までに約2万7千人の方が亡くなりました。私にいるミシオネス州でも現在までに58人の方が亡くなりました。現在でも州境並びに国境も閉鎖されたままです。今日国際便の再開第一号がようやく運航したそうです。

マスクをつければ65歳以下の人は自由に外出できます。ミサは参加者の制限があり、40名程度ということになっています。そのせいかミサが荘厳になってきました。以前のお祭りみたいなミサから心に届く祈りや静けさがあります。

平日のミサは、朝8時からコーラスのようなロザリオ、その後歌のない黙想会みたいな静けさがあり、霊的に深みのあるミサになっています。なにか毎日修道院のミサにあずかっているみたいです。

特に聖体拝領後の静けさの中で聞かえてくる鳥のさえずりには、今を生きているという感謝の念に心満たされる感じがしばしばあります。神に感謝です。

まだ外出が一切禁止の頃、地区の教会の有志の神父さん達の働きかけに警察が協力して、聖体行列を行いました。それは各小教区の中を警察のトラックの中に2メートルぐらいの高さに聖体顯示台を乗せて回るといふものでした。僕自身生涯経験したことのないほどの感動で泣いてしまいました。それは、各市区共に皆が道路脇に跪いて祈っている姿を見たからです。日頃教会に来ていない人達も大勢いました。

各地区では炊き出しや子供達のためのおやつを出すところもあります。苦しくて身の危険が迫る時こそ信者さんたちは寄り添い合うようになっていきます。毎回のミサではくじ引きで食料品が当

たります。私が日本で子供の頃に経験した絆を感じています。皆の顔を見ているととても明るく悲壮感はまだありません。イエス様と日々生きているおかけでしょうか。

年配の方が今もミサに参加できないのでよく電話で早く一緒にミサに出たいと言われます。今のところテレビや携帯電話でのミサ参加にとどまっています。一日も早くみんながイエス様に感謝のミサを捧げたいですね！

今年のクリスマスはイエス様のお恵みを沢山もらえることを祈っています。



教会の動き

連合委員会報告

9月13日

みんなの広場中止決定／高齢者ミサの状況と課題／洗礼・堅信式／各会からの連絡（青年会からミサ動画配信の提案）

〈出席者〉ヨゼフ会、マリア会、日曜学校、青年会若葉、セントメリースカウト、聖歌隊、レジオマリエ、サコム、FCCOK、英語ミサ、一粒会、教会委員三役、ビジュ主任司祭、フック助任司祭、アンディ助任司祭 計23名

10月25日 クリスマスに関する打合せ
ミサ時間決定／奉仕者・ミサ案内・誘導の分担／人数制限に伴う事前申込方法／未洗者来訪者対応／北広場駐車ルール決定

〈出席者〉ヨゼフ会、マリア会、日曜学校、教会委員三役・典礼係、ビジュ主任司祭 計10名
11月15日 菊地大司教との意見交換
〈出席者〉ヨゼフ会、マリア会、青年会若葉、聖歌隊、FCCOK、財務委員会、教会委員三役・典礼係・広報係、ビジュ主任司祭計20名

11月22日

クリスマスミサ座席配置・奉仕者手配準備状況／大掃除場所の各会への分担／年末年始ミサ時間／新成人の祝福

〈出席者〉ヨゼフ会、マリア会、日曜学校、青年会、聖歌隊、教会委員三役・典礼係、ビジュ主任司祭、ボスコ、フック、アンディ各助任司祭、伊藤神学生 計17名

司祭 団から

ミサ意向について

教会では亡くなった方のため、病气やケガなどで苦しんでいる方のため、また、特別にご加護をいただきたい時や感謝を表すためにミサをささげることができ

ます。誰かのために特別な意向でミサをささげ、ミサにあずかっている皆で喜び、悲しみ、苦しみを共に分かち合い、その方を思い起こすことは共同体として大切なことと

です。主日のミサに限らず、月曜日を除く平日でもご都合に合わせて。会館1階受付又はお電話でお申し込みください。

ミサ奉仕の再開へ

典礼奉仕者連絡会 内藤 信明

新型コロナウイルスの影響でミサにあずかることすらできなかった時期を経て、さまざまな制限つきながらも、聖堂でもごミサをささげることができるようになりました。

10月4日、侍者奉仕再開に向け、今まで侍者に携わってきた方々とビジュ神父様、フック神父様のご指導のもと、新たなミサの形に対応する侍者奉仕のやり方を決めました。さらに11月1日には先唱、聖書朗読の奉仕者の方々（おおよそ40名）と今後のミサ奉仕のやり方をお話ししました。少しずつではありますが、典礼奉仕活動の再開に向けた目に見える変化が現れてきています。

聖堂内のレイアウトなども含め、コロナ禍以前のようにはなかなか戻れませんが、今後とも、感染予防に重点をおきつつ大勢の方々と支えあいながら典礼奉仕活動に取り組んでいきます。

洗礼おめでとうございます



受洗まで

妻と三人の子供が受洗したのは、77年の復活徹夜祭でした。

私は長男としての立場上、両親の存命中の受洗には躊躇もあり、また企業戦士としてゆっくり考える暇もありませんでした。然し、妻の存在、家族の代父母になつていただいたクリスマスチャンファミリーとの今日に至るまでの長いお付き合いは、私を受洗志願へ導く大きなきっかけとなりました。

一昨年、妻の勧めで松本神父様の聖書入門講座に参加、受洗を前提とした勉強は非常に充実した心満たされるものでした。

神父様から今年の復活徹夜祭での受洗を勧められた時の感激は忘れられません。然し、松本神父様は直後、長浦教会へ転任され、新型コロナウイルスの感染拡大で受洗は見通しのつかない延期になり不安を抱き続けた毎日でした。

ようやく20年10月10日ビジュ神父様



テレーズ
マテイア
マリヤ・アンナ
マリー・コンセプション

使徒ヨハネ
バルナバ
フランシスコ
マリヤ・カタリナ
マリヤ・エリザベト
ヨセフ・パウロ
トマス
アーノルド・ヤンセン
フランシスカ
セシリア
ソフィア・バラ
マリヤ・マグダレナ
ヨアキム・アンナ
ラファエル
マリー・ド・レンカルナシオン
ミカエラ
ヴェロニカ

により洗礼のお恵みをいただくことができ無量です。

聖水が髪を濡らし、襟元にしたたつた感触は生涯忘れられないでしょう。



教会に行ってみようと思ったきっかけは、クリスチャンの方と知り合い、その人の生き方や考え方を素敵だと思ったからです。

最初は、「キリスト教を信じればいい人になれるの?」という興味本位でしたが、聖書を読んだり、信仰講座で勉強する中で、大事にしたい言葉や思いをたくさん見つけ、神の愛を感じたので洗礼を受けたい

と思うようになりました。

今後も洗礼を受けようと思った気持ちを忘れずに、信仰を大切にしていきたいと思えます。

私は幼い頃から、聖書に触れていました。とは言っても、読んだことはなく文字通り触っているだけでした。

両親は地域の、カトリックでもプロテスタントでもなく自主的に集まった小さな教会に通う熱心な信者でした。

大人になり、結婚した相手がカトリック信者の家庭の人で、自然な流れで息子は幼児洗礼を受け、日曜学校に通い始め、私も入門講座に足を運ぶようになりました。

いろいろな方々の助言もあり、両親とは違う教会ですが、信者として生きて行こうと決意いたしました。



10月10日17時ミサで24名の方が
洗礼のお恵みをいただきました

堅信おめでとうございます



私と神様

私のなかでイエス様とは日々を過ごしていく中で当たり前のような存在でした。幼児洗礼を受けていたということもあり、物心ついたときには、イエス様、教会、神父様、日曜学校が私の周りにはありました。

私は小さいときから、眠りにつく前に主の祈りとアベマリアの祈りを唱えるのが習慣になっていました。しかし、高校生になってからは忙しくなってしまう、日々のお祈りさえも疎かにしてしまっていました。

今回は堅信式を通じて、もう一度信仰とはなにかということを考え直すきっかけをもらえました。感謝とともに問いかけを続けていきたいです。

私の信仰宣言

「私にとっての信仰宣言とは？」
これはとても難しい質問だと思います。

アグネス
イグナチオ・デ・ロヨラ
ベルナデッタ
マリア テレジア
マリア
ソフィア
ヨセフ
ステラ・マリス
アウグスティヌス(カンタベリー)

マリア・マグダレナ
ヨアキム・アンナ
マリー・ド・レンカルナシオン
ミカエラ
ヴェロニカ
テレーズ
マテイア
マリア・アンナ
マリー・コンセプション

使徒ヨハネ
バルナバ
フランシスコ
マリア・カタリナ
マリア・エリザベト
ヨセフ・パウロ
トマス
アーノルド・ヤンセン
フランシスカ
セシリア
ソフィア・バラ



11月15日菊地功大司教の司式により
堅信式が行われました。

信仰宣言は、色々な形があり、人それぞれだからです。

さらに私は、物心つく頃には神様がいつも共にいてくださると教えられてきました。周りの大人達や家族を見てもカトリック。右見ても左見ても、カトリック。その中で改めて「あなたの信仰宣言とは？」と聞かれるとすぐには思い浮かびません。しかし、どんな形が信仰宣言なのかと考えてみると、毎日少しでも神様に感謝することだと思います。

例えば、聖書の一節を読むことや聖歌を歌う、一日の終わりにお祈りをするなど小さなことでも神様に感謝し、触れる時間があるだけで立派な信仰宣言だと思います。だから、「あなたにとっての信仰宣言とは？」と聞かれたら、毎日平穩に暮らしていることを神様に感謝して、今ある自分の人生を心から楽しむことだと答えます。

堅信式を終えて

コロナウイルスのために大変な状況の

中で行われた堅信式に関わって下さった多くの方に感謝しています。

僕は小さい頃から教会に通っており、堅信を受けられたことを嬉しく思っています。

堅信式はゴールではなくスタートだと考えているので、よりイエス様に触れ、信仰を深めていきたいです。

教会という場所

先日、司教様の司式のもと私達は堅信を授かることができました。コロナ禍の中、堅信がなかなか受けられませんでした。司教様に司式していただけた事に感謝しております。

私は母が信者という事もあり、幼稚園の頃から教会に通い、日曜学校にも9年間通っていました。新型コロナウイルスが流行し、今まで当たり前のように行っていた教会に行けなくなり、改めてミサにあずかることの有難さを感じました。小さい頃からずっと過ごしているこの教会は私にとって大切な場所です。

これからは日曜学校のリーダーとして信仰を表し小学生に伝えていきたいと思えます。

日曜学校だより

ほんの数週間のつもりで始まった日曜学校の休み、そのころは、まだ子どもたちを迎える楽しい復活祭を想っていました。

その後、自粛期間になってしまい、終了式・卒業式をはじめ、新年度始業式や夏の八ヶ岳合宿などの日曜学校行事も中止になってしまいました。

子どもたちに会えないどころか、みんなでミサにさえあずかれない日々を経て、8月から『日学ミサ』を行っています。毎月第4日曜日15時半に、神父さまと子どもたち、保護者、リーダーであずかるミサです。また、9月からは、リーダー手作りの『日学だより』も配布しています。クラスごとに、それぞれのカラーで書かれたお便りです。

「いつも 吉祥寺教会で みんなを待つてるよー」
 というメッセージが伝わりますよっ!」。

〈3・4年生担当〉

2020年 11月

11月 日学だより

11月5日(水) 3・4年生

～聖人とせくな、おんについて考えよう～

11月1日は..「諸聖人の日」

すべての聖人と、キリスト教のみなさんにせくな、おんを記念する日。神様が、私たちがみんなに、キリスト教を信じている人として、イエス様のように生きようとする人として、よいことを思い出してあげるんだよ。

聖人って誰のことかな?

11月2日は..「死者の日」

せくな、おんすべてのキリスト教者を記念する日。せくな、おん魂が「永遠のいのち」をもち、天国へ旅立をするように私たちが祈ります。神様が御霊を下さるんだよ。

おんを 誰かかかろうか?

目標 自分が買いたい聖人について調べてみよう!

～聖人のふりかえり～
 10月10日(日)キリスト教の歴史を勉強しよう!
 10月10日(日)キリスト教の歴史を勉強しよう!
 10月10日(日)キリスト教の歴史を勉強しよう!

コラム ～10月31日のハロウィンはどうして始まったの?～

2000年以上前に、10月31日はケルト民族のサウエン祭という死者の祭りが行われていました。

10月31日の夜は「ハロウィン」の意味があります。

その夜、カトリック系がケルト系を侵略して、カトリックの習慣として広まってきた。

1・2年だより 10月

マリアさま

マリアさまは、イエスさまのお母さんです。わたしたちみんなのお母さんでもあります。みんなもお母さん大好きだよ。お母さんに、「大好きだよ」とか、「ありがとう」とか言ったり、きれいとききや、おねがいがあるときに「お母さん、おねい..」っていいことをおねがいしてあげよう。

わたしたちの**とくどいお母さん**であるマリアさまにもおねいようよ。おねいようよ。おねいようよ。

アヴェ・マリアのいのり

アヴェ・マリアのいのり
 主はあなたとともに居られます
 あなたは女のうちで祝福され
 たいないの御子イエスを宿されています
 神の母 マリア、私たちが罪人のために、
 祈り、おねいようよ。おねいようよ。おねいようよ。
 アーメン

えいしょう

えいしょうは、父と子とせいれいに
 ともにいるように今もいつも ともに。
 アーメン

ローズリオ

「主のいのり」と「えいしょう」と「アヴェ・マリアのいのり」を、きめきめと10回繰り返すのが、ローズリオです。

10月はローズリオの月だよ!



ローズリオのいのり
 主のいのり
 えいしょう
 アヴェ・マリアのいのり
 10回繰り返すのがローズリオだよ!

〈1・2年生担当〉

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
日	10:30	キリスト教入門講座	風羽講師	初心者、一般	1階・中ホール
火	10:30	新型コロナウイルス感染予防のため、しばらくの間 全ての講座はお休みです。 再開する際は、ホームページ、ルアッハーなどで お知らせいたします。			ホール
	10:30				ホール
	19:30				ホール
水	10:30				ホール
	19:30				キリスト教入門講座

◆お詫びと訂正

シャローム秋号3頁、後藤神父様の生年月日は
×31年9月13日↓○29年9月13日です。
お詫びして訂正いたします。

◆教会広報仲間募集

絵やイラスト描ける、文章を書いたり読んだりする
のが好き、PC作業得意、何かを作るのが好き、動画
撮影・編集できるといふ方、また、何かできるわけ
はないけれど手伝いたい方大募集。

主任司祭または教会委員広報担当まで、いつでも
お申し出ください。

◆へご意見箱へを作ります

ミサに來ても、司祭と、また信徒同士ゆっくりと
話ができない、集まりもできない今、聞きたいこ
と、聞いてほしいことを書いて入れる箱と用紙を
聖堂入り口に置きます。ご利用ください。用紙に
は必ず記名の上投函してください。

主任司祭が目を通しますが、無記名のもは読
まずに破棄します。

◆教会からの毎月のお知らせ・予定はルアッハー
をご覧ください。毎月第一日曜日に発行していま
す。どうぞお持ち帰りください。

◆シャローム次号は2021年4月4日復活祭に
発行予定です。

(広報 T)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~16:30

※ 定休日: 月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日: 8:30 / 10:00 / 11:30
17:00

*第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜: 17:00 (主日のミサ)

■ 教会報 シャローム ■

No.497 2020年12月24日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/Fax 0422-44-0180 URL ▶ <http://www.svdtokyo.jp>

教会維持費献金振替口座 郵便振替: 口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

